



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL <https://www.noble-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 満寿夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 丸山 睦雄 (TEL) 044-422-3831
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,022	△3.8	755	21.0	883	18.1	755	—
2020年3月期	12,499	△5.4	624	△37.6	748	△42.1	△84	—

(注) 包括利益 2021年3月期 2,283百万円(—%) 2020年3月期 △176百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	76.74	76.64	3.5	3.4	6.3
2020年3月期	△8.55	—	△0.4	3.0	5.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(注) 2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	27,270	23,063	82.9	2,296.87
2020年3月期	24,575	21,202	84.5	2,110.94

(参考) 自己資本 2021年3月期 22,620百万円 2020年3月期 20,764百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	513	△1,077	△467	6,842
2020年3月期	1,199	△684	△593	7,888

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	491	—	2.3
2021年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00	393	52.1	1.8
2022年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		61.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	30.8	500	—	550	678.4	450	—	45.69
通期	13,200	9.8	900	19.2	1,000	13.2	800	5.9	81.23

(注) 2022年3月期第2四半期の営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の対前年四半期増減率は、1,000%を超えるため「—」と記載しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	10,141,833株	2020年3月期	10,141,833株
② 期末自己株式数	2021年3月期	293,378株	2020年3月期	305,358株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	9,842,892株	2020年3月期	9,832,423株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,172	1.0	179	49.6	762	72.5	689	103.4
2020年3月期	9,079	△10.1	120	△49.1	442	△39.0	338	△45.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	70.01		69.92					
2020年3月期	34.46		34.41					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	21,630		18,070		83.5	1,833.80		
2020年3月期	20,214		17,157		84.8	1,743.11		

(参考) 自己資本 2021年3月期 18,060百万円 2020年3月期 17,146百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 役員の変動	17
(2) 生産、受注及び販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、第1四半期では新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、各国政府による都市封鎖や企業の操業停止など経済活動が抑制され、急激に景気が減速しました。第2四半期に入り、緩やかに経済活動が再開し景気回復の兆しを見せ、第3四半期以降は各国において実施された財政支援策、ワクチン接種の開始などにより世界各地で景気が回復傾向となりました。一方で変異種の出現などにより一部の地域では感染が再拡大しており、各国政府の財政圧迫懸念など世界経済の先行きは不透明感が継続しております。米国では、経済政策による個人消費が増加し、また、設備投資等の拡大により、景気回復が緩やかに進みました。アジアでは、中国において内需や輸出が拡大し景気回復が続いております、我が国においては、変異種による感染の再拡大が懸念されていますが、輸出や設備投資が増加し回復基調にあります。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要により堅調であったゲーム機関連市場に加え、自動車市場においては、一時期大きく落ち込みましたが、自動運転やEV等の環境対応車へのシフトによる自動車関連市場向け部品の需要が拡大しております。一方、材料価格高騰や半導体などの供給不足などのリスク要因もあり不透明感が強くなってきております。

このような状況の中、当社グループは、生産性向上とコストダウンを目的に、省人化・自動化設備の導入及び生産管理システムの刷新を、全ての事業所へ展開を継続しており、加え、中長期的な半導体需要拡大が見込まれることから、関連事業所においてカーボンニュートラルを念頭においた構造の工場が2021年1月より稼働開始しました。一方、新型コロナウイルス感染症対策を行うことで感染防止に努め、材料、素材や部品調達からお客様までのサプライチェーンを確保すると共に、固定費の抑制に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は120億22百万円（前年同期比3.8%減）となりました。営業利益は7億55百万円（前年同期比21.0%増）、経常利益は8億83百万円（前年同期比18.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億55百万円（前年同期は84百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

ゲーム機市場向けは堅調を維持しました。自動車電装向け、生活家電向けは、第3四半期以降急激に回復しましたが、一部の原材料入手難等の問題もあり、上半期の落ち込みをカバーしきれず全体としては前年比マイナスとなりました。

この結果、電子部品の売上高は115億10百万円（前年同期比3.0%減）となり、営業利益は7億5百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

季節品である暖房機向け前面操作ブロックは暖冬から一転したものの、客先の在庫消化が優先され微減となりました。また、自動車電装向けも回復しておりますが、半導体不足による生産調整の動きも出始めており、不透明な状況です。

この結果、売上高は62億18百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は3億61百万円（前年同期比113.0%増）となりました。

b. アジア

中国市場向けの、可変抵抗器やエアコン用固定抵抗器は回復してきておりますが、デジタルカメラ・ビデオカメラ向け前面操作ブロックなどAV市場向けは落ち込みが継続しております。

この結果、売上高は50億79百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は3億46百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

c. 北米

自動車電装向けで回復が遅れたほか、アジアから北米への物流も一部滞り、全体的に低調でした。

この結果、売上高は2億12百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失は0百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。

②その他

環境対応緩衝材が、半導体関連市場向けや医療機器向けに順調に推移しましたが、機械設備の製造販売は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、低調でした。

この結果、その他事業の売上高は5億11百万円（前年同期比18.6%減）、営業利益は25百万円（前年同期比51.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ26億94百万円増加し、272億70百万円となりました。その内訳は、流動資産が1億13百万円増加し158億46百万円、固定資産が25億80百万円増加し114億23百万円となっております。

負債は前連結会計年度末に比べ8億33百万円増加し、42億6百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億64百万円増加し23億60百万円、固定負債が5億68百万円増加し18億46百万円となっております。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ18億61百万円増加し230億63百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の84.5%から82.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、5億13百万円（前年同期は11億99百万円）となりました。これは、税金等調整前当期純利益8億83百万円（前年同期は2億84百万円）、減価償却費6億97百万円（前年同期は6億76百万円）、売上債権が9億70百万円増加（前年同期は4億30百万円の減少）したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億77百万円（前年同期は6億84百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得に10億48百万円（前年同期は7億85百万円）支出したことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億67百万円（前年同期は5億93百万円の使用）となりました。これは配当金の支払い3億95百万円（前年同期は4億90百万円）などによります。

この結果、当連結会計年度の現金及び現金同等物の残高は、10億45百万円減少（前年同期は1億2百万円の減少）し、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は68億42百万円（前年同期は78億88百万円）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、各国における財政支援策や新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が徐々に進んでおり、今後世界経済は緩やかに回復傾向にあります。変異種による再拡大も懸念されており、依然世界経済の先行きは予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では半導体の一部供給不足、材料費高騰、国際貨物需給ひっ迫などリスクが顕著化しておりますが、脱炭素社会の実現など各国の政策が具体化しており、自動車市場関連、5G関連や省エネ分野の拡大も見込まれます。

そのような環境の中、当社は未来のNOBLEを見据えて、「抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化」を長期ビジョンとして、中期5ヵ年計画を策定しました。

その初年度にあたる2022年3月期の連結業績予想につきましては、売上高132億円、営業利益9億円、経常利益10億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を予想しております。前提となる為替レートはUS\$1=¥105を想定しております。また、中期5ヵ年計画では2025年3月期に売上高180億円、営業利益15億円を目指します。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、売上、利益の成長を目指し、設備投資、人員増強等の取組への投資を勘案したうえで事業成長による1株当たりの利益・配当の増額および、株主様の利益の最大化と、利益に応じた安定的、継続的な配当を方針としております。本日発表した2021年3月期決算短信のとおり、通期業績は当初予想を上回ることとなりましたので、この基本方針に基づき総合的に判断した結果、2021年2月5日に発表した2021年3月期の期末配当予想に対し、1株当たり5円増配の25円に修正させていただきます。これにより2021年3月期の1株当たり年間配当金は40円となります。詳細につきましては、本日公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

また、次期（2022年3月期）の配当については、当期に比べ10円増配の1株当たり50円（中間期25円、期末25円）とさせていただきます。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記の予想と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,214,055	9,063,565
受取手形及び売掛金	2,342,902	3,264,049
電子記録債権	589,506	620,094
商品及び製品	1,151,783	1,112,041
仕掛品	562,139	566,837
原材料及び貯蔵品	589,052	682,997
その他	286,705	541,546
貸倒引当金	△3,276	△4,369
流動資産合計	15,732,870	15,846,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,526,998	1,942,398
機械装置及び運搬具（純額）	1,237,509	1,343,287
土地	590,659	635,219
リース資産（純額）	4,541	2,781
建設仮勘定	265,791	16,950
その他（純額）	233,250	249,837
有形固定資産合計	3,858,750	4,190,474
無形固定資産		
70,837	70,837	60,147
投資その他の資産		
投資有価証券	1,896,774	2,735,032
長期貸付金	3,268	2,870
退職給付に係る資産	2,465,177	3,932,810
繰延税金資産	10,050	12,399
その他	542,976	494,659
貸倒引当金	△4,848	△4,848
投資その他の資産合計	4,913,399	7,172,923
固定資産合計	8,842,987	11,423,544
資産合計	24,575,857	27,270,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	604,218	754,379
電子記録債務	427,224	503,172
短期借入金	49,887	47,263
未払法人税等	66,328	115,427
賞与引当金	329,018	334,798
役員賞与引当金	5,000	8,000
その他	614,165	597,478
流動負債合計	2,095,843	2,360,518
固定負債		
退職給付に係る負債	119,141	118,916
繰延税金負債	1,092,455	1,680,574
その他	66,161	46,860
固定負債合計	1,277,758	1,846,351
負債合計	3,373,602	4,206,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	12,019,692	12,363,761
自己株式	△745,460	△715,192
株主資本合計	20,183,623	20,557,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,734	1,029,576
為替換算調整勘定	△94,782	△201,542
退職給付に係る調整累計額	273,676	1,234,614
その他の包括利益累計額合計	580,628	2,062,649
新株予約権	11,637	10,169
非支配株主持分	426,366	432,657
純資産合計	21,202,255	23,063,436
負債純資産合計	24,575,857	27,270,306

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	12,499,701	12,022,184
売上原価	8,579,091	8,102,934
売上総利益	3,920,609	3,919,249
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	236,495	245,086
役員報酬	199,619	210,518
従業員給料及び手当	1,099,861	1,049,188
法定福利費	162,379	151,469
貸倒引当金繰入額	—	905
賞与引当金繰入額	119,705	126,100
役員賞与引当金繰入額	5,000	8,000
退職給付費用	△51,654	2,961
旅費交通費及び通信費	157,219	87,513
減価償却費	135,624	139,507
研究開発費	498,289	514,841
その他	733,909	627,957
販売費及び一般管理費合計	3,296,448	3,164,050
営業利益	624,160	755,199
営業外収益		
受取利息	53,206	39,719
受取配当金	88,121	52,792
受取賃貸料	63,104	57,721
助成金収入	9,287	42,059
その他	53,162	31,342
営業外収益合計	266,883	223,636
営業外費用		
支払利息	4,245	2,677
固定資産賃貸費用	32,976	28,268
固定資産除却損	22,029	5,837
外国源泉税	18,543	5,455
為替差損	54,456	48,000
その他	10,618	5,220
営業外費用合計	142,870	95,460
経常利益	748,173	883,375

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	161,036	—
特別利益合計	161,036	—
特別損失		
投資有価証券評価損	160,607	—
関係会社清算損	463,783	—
特別損失合計	624,390	—
税金等調整前当期純利益	284,819	883,375
法人税、住民税及び事業税	127,228	154,971
法人税等調整額	204,921	△36,352
法人税等合計	332,150	118,619
当期純利益又は当期純損失(△)	△47,331	764,755
非支配株主に帰属する当期純利益	36,773	9,388
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△84,105	755,366

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△47,331	764,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△246,989	633,126
為替換算調整勘定	552,656	△75,883
退職給付に係る調整額	△434,677	961,299
その他の包括利益合計	△129,010	1,518,542
包括利益	△176,342	2,283,298
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△211,299	2,237,387
非支配株主に係る包括利益	34,957	45,910

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,453,078	5,456,313	12,352,244	△768,223	20,493,413
当期変動額					
剰余金の配当			△491,616		△491,616
親会社株主に帰属する 当期純損失			△84,105		△84,105
自己株式の取得				△1,178	△1,178
自己株式の処分			△12,465	23,941	11,475
連結範囲の変動			255,634		255,634
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△332,552	22,762	△309,789
当期末残高	3,453,078	5,456,313	12,019,692	△745,460	20,183,623

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	647,043	△647,776	708,555	707,823	10,003	452,726	21,663,967
当期変動額							
剰余金の配当							△491,616
親会社株主に帰属する 当期純損失							△84,105
自己株式の取得							△1,178
自己株式の処分							11,475
連結範囲の変動							255,634
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△245,309	552,994	△434,879	△127,194	1,633	△26,360	△151,921
当期変動額合計	△245,309	552,994	△434,879	△127,194	1,633	△26,360	△461,711
当期末残高	401,734	△94,782	273,676	580,628	11,637	426,366	21,202,255

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,453,078	5,456,313	12,019,692	△745,460	20,183,623
当期変動額					
剰余金の配当			△393,641		△393,641
親会社株主に帰属する 当期純利益			755,366		755,366
自己株式の取得				△970	△970
自己株式の処分			△17,656	31,238	13,582
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	344,068	30,267	374,336
当期末残高	3,453,078	5,456,313	12,363,761	△715,192	20,557,960

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	401,734	△94,782	273,676	580,628	11,637	426,366	21,202,255
当期変動額							
剰余金の配当							△393,641
親会社株主に帰属する 当期純利益							755,366
自己株式の取得							△970
自己株式の処分							13,582
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	627,842	△106,760	960,938	1,482,020	△1,467	6,291	1,486,844
当期変動額合計	627,842	△106,760	960,938	1,482,020	△1,467	6,291	1,861,180
当期末残高	1,029,576	△201,542	1,234,614	2,062,649	10,169	432,657	23,063,436

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	284,819	883,375
減価償却費	676,883	697,281
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△220,398	△83,716
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16,331	608
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,098	4,992
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,000	3,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△40,894	903
固定資産除却損	22,029	5,837
固定資産売却損益 (△は益)	△161,606	△439
関係会社清算損益 (△は益)	463,783	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,588	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	160,607	—
受取利息及び受取配当金	△141,328	△92,512
支払利息	4,245	2,677
売上債権の増減額 (△は増加)	430,537	△970,726
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,163	△76,064
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122,652	227,228
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,535	△68,467
その他	△134,917	△45,948
小計	1,165,125	488,028
利息及び配当金の受取額	143,625	91,062
利息の支払額	△4,245	△2,677
法人税等の還付額	13,437	26,540
法人税等の支払額	△118,600	△89,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,199,341	513,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△181,657	△48,199
有形固定資産の取得による支出	△785,695	△1,048,341
有形固定資産の売却による収入	197,821	826
無形固定資産の取得による支出	△19,118	△17,681
投資有価証券の取得による支出	△1,484	△1,370
投資有価証券の売却による収入	23,609	—
貸付けによる支出	△18,000	—
貸付金の回収による収入	53,792	1,250
保険積立金の解約による収入	46,287	43,801
その他	△24	△8,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△684,469	△1,077,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,044	—
短期借入金の返済による支出	—	△2,624
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△42,790	△28,031
自己株式の売却による収入	9	22
自己株式の取得による支出	△1,178	△970
配当金の支払額	△490,487	△395,263
非支配株主への配当金の支払額	△60,480	△40,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	△593,882	△467,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,030	△13,721
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△102,040	△1,045,530
現金及び現金同等物の期首残高	7,957,424	7,888,063
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,679	—
現金及び現金同等物の期末残高	7,888,063	6,842,532

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の報告セグメントの区分方法は、製造方法並びに使用目的及び販売方法の類似性を考慮して区分しており、「電子部品」、「その他」の2つを報告セグメントとしております。

「電子部品」は、前面操作ブロック、抵抗器、スイッチ等の製造販売をおこなっております。「その他」は、機械設備等の製造販売をおこなっております。

電子部品においては、本社及び子会社が所在する地域別に業績評価をおこなっており、その評価単位である「日本」、「アジア」、「北米」の3つの地域に区分し補完的に管理しております。

本邦以外の地域に属する国の内訳は、次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・・・シンガポール、タイ、中国、ベトナム

(2) 北米・・・・・・・・米国

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	連結財務諸表 計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	11,870,992	628,708	12,499,701	—	12,499,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,570	358,142	364,712	△364,712	—
計	11,877,562	986,851	12,864,413	△364,712	12,499,701
セグメント利益	552,863	52,893	605,757	18,403	624,160
セグメント資産	17,887,533	549,551	18,437,084	6,138,773	24,575,857
その他の項目					
減価償却費	646,085	15,300	661,386	—	661,386
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	803,598	1,214	804,813	—	804,813

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	連結財務諸表 計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	11,510,290	511,893	12,022,184	—	12,022,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,895	463,245	469,141	△469,141	—
計	11,516,186	975,139	12,491,325	△469,141	12,022,184
セグメント利益	705,739	25,753	731,492	23,706	755,199
セグメント資産	21,003,180	604,383	21,607,564	5,662,742	27,270,306
その他の項目					
減価償却費	666,621	16,095	682,716	—	682,716
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,057,177	8,845	1,066,023	—	1,066,023

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,957,174	5,700,380	213,436	11,870,992	—	11,870,992
地域間の内部売上高 又は振替高	4,106,784	3,672,187	—	7,778,972	△7,772,402	6,570
計	10,063,959	9,372,568	213,436	19,649,965	△7,772,402	11,877,562
地域別利益又は損失 (△)	169,645	380,348	△4,677	545,316	7,547	552,863

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	6,218,557	5,079,491	212,240	11,510,290	—	11,510,290
地域間の内部売上高 又は振替高	4,132,233	3,455,924	—	7,588,157	△7,582,261	5,895
計	10,350,791	8,535,416	212,240	19,098,447	△7,582,261	11,516,186
地域別利益又は損失 (△)	361,383	346,669	△701	707,351	△1,612	705,739

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

項目	内容	前連結会計年度 (千円)	当連結会計年度 (千円)
売上高	セグメント間取引消去	364,712	469,141
セグメント利益	取引消去差額	18,403	23,706
セグメント資産	全社資産及びセグメント 間振替* 1	6,138,773	5,662,742
その他の項目			
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	全社資産	—	—

* 1 全社資産は、報告セグメントに属さない、当社での余資運用資金、長期投資資産及び賃貸等不動産等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整をおこなっております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,110.94円	2,296.87円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△8.55円	76.74円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	76.64円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△84,105	755,366
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益又は親会社株主に帰属する当期純損 失(△)(千円)	△84,105	755,366
普通株式の期中平均株式数(株)	9,832,423	9,842,892
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	12,515
(うち新株予約権(株))	(—)	(12,515)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

1. 代表者の変動

該当事項はありません。

2. その他の役員の変動

(1) 新任取締役候補(2021年6月29日付予定)

取締役 石口 和夫 (現 当社執行役員)

取締役 久古谷 敏行

(2) 退任予定取締役(2021年6月29日付予定)

社外取締役 等々力 正夫

(3) 辞任(2021年1月19日付)

取締役 一柳 和夫

(注) 新任取締役候補 久古谷 敏行氏は、社外取締役であります。

(2) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
電子部品(千円)	11,542,892	97.6
その他(千円)	512,110	84.6
合計(千円)	12,055,002	97.0

2. 受注状況

(1) 受注高

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
電子部品(千円)	12,397,220	110.5
その他(千円)	500,474	84.3
合計(千円)	12,897,694	109.2

(2) 受注残高

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
電子部品(千円)	2,383,613	159.3
その他(千円)	25,366	69.0
合計(千円)	2,408,979	157.1

3. 販売実績

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
電子部品(千円)	11,510,290	97.0
その他(千円)	511,893	81.4
合計(千円)	12,022,184	96.2

4. 製品別販売実績

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
電子部品		%		%
前面操作ブロック(千円)	4,249,385	34.0	3,486,631	29.0
可変抵抗器(千円)	2,045,912	16.4	1,952,048	16.2
固定抵抗器(千円)	1,913,540	15.3	1,791,199	14.9
その他(千円)	3,662,153	29.3	4,280,410	35.6
小計(千円)	11,870,992	95.0	11,510,290	95.7
その他				
その他(千円)	628,708	5.0	511,893	4.3
小計(千円)	628,708	5.0	511,893	4.3
合計(千円)	12,499,701	100.0	12,022,184	100.0